

緑化と環境美化活動が認められて

跡ヶ瀬のぎくの会（上島博喜代表）が平成19年度熊本県緑化環境美化功労者表彰を受賞し、3月12日、市役所を訪れ、佐藤市長に受賞報告をしました。

この賞は、ボランティア活動として緑化や環境美化を継続的に実施し、県が表彰基準として定めた活動内容・期間を満たした個人・団体に贈られる賞です。

今回、表彰を受けた跡ヶ瀬のぎくの会は、平成16年に設立され、会員数6人と少数ながらも、県道149号沿線（神話の石「的石さん」付近）に設置した花壇約600㎡の除草作業や花の植栽、手入れなどを日々行ったことが評価され、今回の受賞に至りました。



▲跡ヶ瀬のぎくの会の皆さんと佐藤市長（左）



▲3月15日に行われた現地説明会のもよう。市民や考古学ファンなど約80人が参加しました

もとみや よしまつぐう 元宮（旧吉松宮跡）の謎を解明!

阿蘇神社の火振り神事で有名な「御前迎え」の^{ひめがみ}姫神の出発地として知られながらも、謎が多かった吉松宮の移転前のお宮があったとされる「元宮」の学術調査が別府大学により行われました。

調査の結果、自然の地形を巧みに利用した堤状という不思議な空間の中に、社殿と思われる建物の基礎となった石や石垣などが見つかりました。

また、約300年前の江戸時代の貨幣や陶磁器が見つかっているため、少なくとも江戸時代の中頃まではこの地に吉松宮が存在し、何らかの原因により今の地に移ったものと考えられます。

今回の調査により、祭事の移り変わりや移転の理由の手がかりを知る貴重な発見がありました。

後期高齢者医療制度スタート!

後期高齢者医療制度の啓発を行うキャラバン隊が3月4日、市役所を訪れ、同制度を啓発するのぼりやポケットティッシュ約200個を高橋高齢者支援課長に手渡しました。

これは、4月1日からスタートした同制度の広報活動の一環として実施されたもので、3月3日から7日までの5日間、県内の全市町村をキャラバン隊が巡回しました。

同制度は、老人医療費を中心に国民医療費が増大する中、現役世代と高齢者の負担を明確にするため、75歳以上の後期高齢者の方々を対象にした新たな高齢者医療制度で、県内の全市町村が加入する熊本県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、県や市町村と連携しながら高齢者の方々の医療を支えていくことになります。

同制度に関するお問い合わせは、☎22-3145（高齢者支援課高齢者医療係）までお願いします。



熊本県知事選挙結果

3月23日に執行された熊本県知事一般選挙の阿蘇市開票区での結果をお知らせします。

候補者別得票数	候補	得票数
岩下 栄一	候補	701票
北里 敏明	候補	2,161票
かまくら 孝幸	候補	8,624票
かばしま 郁夫	候補	3,005票
矢上 雅義	候補	802票

当日有権者数 24,298人 有効投票数 15,293票 無効投票数 142票 投票率 63.52%



聞き入る眼差しにやりがい。本の読み聞かせ

保護者やボランティアの方が学校へ出向き、授業前の朝15分間、児童たちに本の読み聞かせをする取り組みが阿蘇市内数ヶ所で行われています。



写真の宮地小学校PTA「おはなしボランティアゆめふうせん」(竹内真理代表ほか20人)は、昨年度から開始。現在月に2回全クラスで本を読まれています。親など身近な人が本を読んであげると子どもは安心して物語の世界に入るそうで、「子どもたちの好奇心あふれた様子を、今後はお父さんたちにも味わってほしい」と皆さん。お父さんの読み聞かせは、迫力があり人気が出そうですね！

本市出身の歌手が老人ホームを慰問



「童謡宅急便」として地域の文化振興につとめる歌手・ピアノ講師の福居悠子さん(大津町)が、12月の内牧保育園に続き、3月12日、老人ホーム上寿園を慰問し、大変喜ばれました。福居さんは、蔵原出身で旧姓は竹原ユウ子さん。この日は阿蘇高校時代の同級生数人も鑑賞に訪れ、福居さんは、童謡を中心に、ご自分が作詞・作曲した数多くの歌曲の中から子どもの頃の思い出を綴った曲を歌われました。最近発売したアルバムCD「阿蘇物語」では、やわらかな歌声と歌詞で阿蘇の美しさを表現。また、社会福祉協議会「やまびこネットワーク」のテーマソングの作詞・作曲も手がけられています。

あそんもん

阿蘇人Tシャツ販売の益金を小学校へ寄付

一の宮町商工会青年部(吉田浩太郎)が昨年、地域の活性化を目的に製作販売した「阿蘇人Tシャツ」の益金20万円を、3月26日、一の宮町内の4小学校に寄付されました。

「阿蘇に住んでいることに誇りを持って、みんなで地元を盛り上げようという趣旨にたくさんの方が賛同してくださった。益金は子どもたちのために役立てたい」と吉田部長。活動は今後も継続されるとのことです。

なお、阿蘇人Tシャツは仲町通り「旧緒方屋」で販売されています。



▲坂梨小学校への寄付の模様



仲町通りでおひなさま展

女性グループ「みやび^{プラスワン}」(森下幸美代表)主催のおひなさま展が、2月27日から3月2日までの5日間、仲町通り商店街の空き店舗で開催されました。

これは、様々な時代の雛人形などを展示することにより、町おこしにつなげようと毎年開催されているもので、今年で9回目です。

開催期間中は、会員や地域の方たちの自宅に眠っていた色鮮やかな雛人形や掛け軸、着物など約80点が展示される中、お茶やお菓子などが振る舞われ、また、土・日曜には琴の体験演奏も行われたことから、観光客や地域の方たちで盛況となりました。なお、同グループは5月にも同じ場所で端午の節句展を開催予定です。

おめでとう日本一!阿蘇高校女子柔道部

3月20日、東京・日本武道館で開催された第30回全国高校柔道選手権大会・内閣総理大臣杯で、阿蘇高校女子柔道部が団体戦で見事優勝し日本一に輝きました。熊本県代表が今大会で優勝したのは初めてです。また、キャプテンの山本小百合選手が最優秀選手に選ばれました。

小柄な体格ながら4試合を戦い抜いた阿蘇高は、長崎・西海学園との決勝戦でも、2勝1引き分けの圧勝を見せ、阿蘇高校の強さを全国に轟かせました。

「夏の金鷲旗、インターハイも優勝して3冠をねらいます」と山本キャプテン。女三四郎のたちの今後の活躍が楽しみです。

写真右から、緒方亜香里（新3年）、山本小百合（同）、石松千奈（2年）、高田知穂（同）、河津梢（同）
後列右から、市長、衛藤繁校長、松岡静也監督



▲「電話お願い手帳」を持つNTT西日本熊本支店の古閑さん

耳が不自由な方へ「電話お願い手帳」

3月3日（耳の日）を前に、NTT西日本から、耳の不自由な方が、突然具合が悪くなるなど困った時に役立つ「電話お願い手帳」120冊を市にいただきました。

NTT西日本による同手帳の寄贈は今年で26回目になります。手帳には、緊急時に必要な用語が記載されていて、困った時に手帳を広げて人に見せ、意思を伝えるというものです。

「電話お願い手帳」は、阿蘇市役所健康福祉課、内牧支所、波野支所の窓口を設置していますので、ご利用ください。

小・中学生女子バレー大阿蘇旗熱戦

第17回大阿蘇旗少女バレーボール大会（阿蘇市バレーボール協会主催）が2月24日、31チームが参加し、一の宮中体育館ほかで行われました。

また、第10回全九州大阿蘇旗争奪中学生女子バレーボール大会（阿蘇郡市バレーボール協会主催）が3月1日～2日、阿蘇体育館であり、26校が白熱したプレーを展開しました。

これらの大会は、スポーツのシーズンオフとなる時期の地域活性化と、地元チームの技術向上を目的に行われおり、阿蘇市内の小学生・中学生チームは全て参加し、県内外の強豪チームと熱戦をくり広げました。



▲試合の様子（選手は阿蘇北中）



◀ 鶴池



▶ 泡池

小池区がコミュニティ助成事業で広場を整備

地域社会の健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、小池区において古くから伝わる七池伝説を後世に伝承していくため、伝説にある七つの池のうち、「泡池」及び「鶴池」の周辺を整備されました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじの普及広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うもので、今回の整備を通じ、七池を史跡として伝承につとめ、子供から大人までが豊富な湧水の恵みを享受し、コミュニケーションを図る場として役立てられています。



卒業生にひょうたんの贈り物

志賀安男さん（波野小園）が、卒業記念品にと手作りひょうたんを波野中卒業生12人、波野小学校卒業生15人（内1名転出者）に贈りました。

今年で4年目となるこのプレゼントは、金色のコーティングがされた豪華なひょうたんに、一人ひとり名前が書き入れられ、縁起よく赤色の飾り紐が結び付けてあります。これを直接手渡された生徒たちは「一生大事にします」と笑顔いっぱい。

志賀さんは「生徒の喜ぶ顔を見るのが励みになります。しかし、年々子どもの数が少なくなっているのが残念な気がします」と話されていました。



▲ひょうたんを持つ波野中の卒業生の皆さんと志賀さん(左から3番目)



お年寄りに琴の演奏披露

古城保育園の園児たちが、2月28日、近くのデイセンターいちのみやを訪問し、利用者の皆さんに琴の演奏や沖縄のエイサーの踊りを披露し大変喜ばれました。

年長組による琴の演奏は、一年間、遠山豊子さん（内牧）がボランティアで指導された練習の成果がよく出て見事でした。エイサーを踊った年中組は揃いの沖縄舞踊衣装で太鼓を威勢よく鳴らしながら入場。お年寄りも手拍子で盛り上がりました。

最後に園児たちが手作りのプレゼントを渡し楽しい交流会が出来ました。

阿蘇市民スポレクフェア開催!

第3回阿蘇市民スポレクフェアが3月9日、阿蘇いこいの村で開催されました。

この日、パークゴルフ競技とウォーキング（4km・8km）の2種目が行われ、約150人がそれぞれの種目で汗を流し、子どもから大人までの多世代間で交流を深めました。

なお、パークゴルフの結果は以下のとおりです。

<男性の部>		<女性の部>	
1位	田代正則（北黒川）	井野 小枝	（西2区）
2位	鳴瀬保雄（東3区）	山部 ハツ子	（東1区）
3位	田島昭吾（北2区）	仁田水ササエ	（東1区）



▲ウォーキングのもよう



小学生が見事なお点前を披露

阿蘇市茶道こども教室実行委員会（小代もと子代表）主催のお茶会が3月15日、りんどう保育園隣接の一の宮子育て支援センターで開催され、一の宮町内の小学生や保護者など約60人が参加しました。

同実行委員会は、平成18年7月に文化庁から委託を受け、日本の伝統文化の継承と土曜日の有意義な活動のために、毎月第2・4土曜日に小学生を対象に茶道教室を実施しています。

この日、宮地・古城・中通小の児童約30人が普段の稽古の発表をかねて、保護者や先生などに見事なお点前を披露しました。

全国大会出場おめでとう!

一の宮中出身の高橋和彦選手が全日本柔道選手権大会に出場!



昨年度の全日本学生柔道体重別選手権大会100kg超級で見事日本一に輝いた、一の宮中出身の高橋和彦選手（23歳）が、全日本柔道選手権東京地区予選で入賞し、4月29日、日本武道館で開催される本大会への出場が決まりました。高橋選手は、今年、大学柔道日本一の国士舘大学を卒業し、これから実業団（新日本製鐵）でオリンピック出場を目指します。小学1年から、一の宮少年柔道クラブで練習を始め、中学、高校と序々に実力をつけ、大学でもキャプテンとして活躍してきました。今度の大会は国内のトップが出場する大きな大会です、ぜひ応援をお願いします。

硬式テニス全国大会、^{たくみ}荒巻巧くん、^{ひろ}央くん

2008全国ジュニアテニスツアー：チャンピオンズ大会（4月上旬、東京都で開催）に、阿蘇北中学校3年の荒巻巧くんと同1年の弟、央くんが出場します。

巧くんは、県地区大会男子シングル14歳以下で32人出場中優勝、央くんは12歳以下で16人出場中優勝し、全国大会へのキップを獲得しました。初めて全国の舞台に立つ巧くんは「攻めて打っていきます」と、得意の攻撃力をいかし挑みます。



▲荒巻巧くん（左）と央くん

高校女子ソフトボール全国大会でプレー



▲笹原さん（左）と森本さん

第26回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会（3月21～24日、広島県）に、一の宮中学校出身の笹原碧紗さん（八代東高校3年）と森本美香代さん（同2年）が出場しました。大会では上位入賞できませんでしたが、二人とも県予選から大変活躍しました。

笹原さんは1番バッターで俊足、守備はオールラウンドの選手で、森本さんは大会時1年生ながら4番バッター、守備はセンターとピッチャーという有力選手。インターハイでの活躍も期待されます。

阿蘇清峰高校、日本拳法全国選抜大会で健闘

3月27、28日、大阪市で行われた第12回全国高校日本拳法選抜大会に阿蘇清峰高校が出場し団体戦でベスト8に入りました。阿蘇清峰高校は、日本拳法の有力校としてこれまでも多くの結果を残しており、今大会でも優勝を目指し頑張りましたが、惜しくも準々決勝で開催地大阪の高校に敗れました。「これからもっと練習して、次は優勝したいです」と江藤キャプテン。今後もぜひ頑張ってもらいたいものです。

写真左から江藤拓実（新3年）、大塚健人（同）、小嶋大輝（同）、坂本裕紀（同）、恩智敏夫（監督）、後列、緑智博（2年）、後藤崇夫（同）、石田鷹章（同）





阿蘇の火まつり開催!



阿蘇郡市で実施する「阿蘇の火まつり」が3月中旬から開催され、本市では阿蘇の大火文字焼きや火振り神事、神楽とそば打ち体験交流が行われ、多くの観光客で賑わいました。

特に、3月15日に開催された大火文字焼きには約2万5千人の人出があり、メイン会場である市総合センター内には、阿蘇市地域婦人会の阿蘇町校区婦人会が紙粘土で作成した灯籠が「火」の文字に配置され、午後7時頃には往生岳と本塚同様「火」の文字が浮かび上がりました。

往生岳と本塚に浮かび上がった縦横350mの「火」の文字は、阿蘇町商工会や牧野組合、阿蘇清峰高校など9団体（約130人）が3月10日、一斗缶をリレー方式で配置することにより作成しました。一斗缶に入れられた燃料には、環境に配慮して、使用済みてんぷら油などの廃食油を精製して作られたバイオディーゼル燃料が使用されました。



▲火振り神事



▲往生岳での火文字作成の様子



阿蘇市地域婦人会の阿蘇町校区婦人会が作製した灯籠を「火」の文字に配置



▲絶滅したトキの仲間。体長は約70cm。毛のない頭で地肌が黒いのが特徴。昨年9月頃からの一羽がよく見かけられています。

国内で珍しい「クロトキ」が阿蘇市の水田跡に飛来



少年柔道県大会で黒川君3位
3月9日に行われた全国少年柔道大会第6回熊本県予選大会（小学3～5年生が対象）で、4年生男子45キロ級に出場した黒川駿君（宮地小）が健闘し、74人中、第3位に入賞しました。これにより黒川君は県の強化選手に選ばれました。



みんなの
掲示板

一の宮少年柔道クラブ員募集
伝統ある「一の宮少年柔道クラブ」では、青少年の健全な心身育成と少年柔道の普及発展のため、クラブ員を募集しています。

募集対象
小学1～6年までの男女（幼児も可）

練習日・練習場所

○阿蘇警察署柔道場

火曜日 18時～20時

水曜日 18時30分～20時30分

○一の宮武道場（旧報徳道場）

木曜日 19時～21時

金曜日 19時～21時

部費

○幼児

2,000円（2ヶ月）

○小学生

4,500円（2ヶ月）

※1,000円（入会金）、500円（スポーツ保険）、1,200円（柔道連盟登録料）も必要となります。

※兄弟割引有り

申し込み・問い合わせ先

担当：齋藤

080・5217・5100

